

エンピツ教室

中央小1、2年生が楽しく勉強



5月30日(月)に中央小でエンピツ教室が開催され、1・2年生が合同で授業しました。高知県内の各小中学校でも活動をされている、絵本専門店「ココ・サン」が、絵やシール、さんかくエンピツなどを使って、正しい姿勢、正しいエンピツの持ち方を教えてくださいました。

「指に貼ったシールの絵とエンピツに描かれた絵を合わせて持つと、正しい持ち方になります」と工夫した教え方に、小学生のみなさんも楽しそうに授業を受けていました。
(広報事務局)

貝ノ川棚田で田植え

葉山中1年生も田植えを体験

5月28日(土)に貝ノ川地区で棚田オーナーによる田植えが行われました。当日は、あいにくの雨でしたが、一般オーナーのほか、県内の三大学で作る地域活性化グループ「さんふえす」、葉山中中学校1年生など、たくさんの方が田植え作業に汗を流しました。

中学生のみなさんも地元の方に教えてもらいながら、手際よく田植えを進めていました。

作業後は、地域のみなさんが用意した羽釜炊きごはんや、地元食材をふんだんに使った料理を囲み、オーナー、中学生らが地域のみなさんと交流しました。

秋には黄金色の稲穂が風に揺れ、おいしい棚田米の収穫作業が行われます。
(広報事務局)



手際よく田植えをする中学生

常光徹先生 講演会 「今、子どもたちに伝えたいこと」

人に化けた妖怪の姿などが
覗くと見えるといわれる
「キツネの窓」を教える
常光先生



みなさん妖怪の話に
夢中でした

ベストセラーとなって現在も人気を誇る「学校の怪談」シリーズ。6月18日(土)に原作者の常光徹先生による講演会が中央小学校体育館で開催され、中央小の児童や保護者の皆さんなどが参加しました。

常光先生は幼少期のころ津野町北川にお住いになられていたそうで、講演会では幼少期の体験談をはじめとしたおもしろい話や怖かった話、学校の怪談にちなんだ妖怪の話を通じて、児童たちに「なにごととも体験してみる」、「根掘り葉掘り聞いてみる。考えてみる。」ということをお伝えいただきました。

会場では、町立図書館で管理している常光先生作のシリーズ本を展覧しており、講演会終了後は足早に先生の作品に立ち寄る児童の姿がありました。

(広報事務局)

先生の作品に立ち寄る
児童たち

